

<学校教育目標> 自ら学び 高め合う 心身共にたくましい宇多野の子

豊かな心

徳

- 規範意識の育成
 - ・自分からあいさつをする。
 - ・ものを大切に使う。
 - ・時間を守る。
- 道徳教育の充実
 - ・お互いの違いを認め合う。
 - ・人とのよりよい関係を築くための言葉や行動を身につける。
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実
 - ・伝統文化や食文化に触れ、伝統や文化を受け継いでいく担い手であることを実感する。
- 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり
 - ・主体的・自発的な児童会活動を進める。
 - ・いじめの早期発見と学校・家庭・地域が連携して対応する。
 - ・不登校児童への心の居場所づくりと魅力ある学校・学級づくりを進める。
 - ・クラスマネジメントシートを積極的に活用する。

<目指す子ども像>

- ・興味をもって考え続ける子
- ・相手の意見を受け入れ伝え合う子
- ・粘り強く最後まで取り組む子

健やかな体

体

- 運動やスポーツの実践と体力の向上
 - ・組織的・計画的な安全管理を徹底したうえで体育学習及び運動部活動を充実させる。(運動量の保証)
 - ・体力・運動能力の向上に向けて行間体育・外遊びなど楽しみながら運動に触れる機会を増やす。
- 保健教育の充実
 - ・「早寝 早起き 朝ご飯」を徹底する。
- 食に関する指導の推進
 - ・学校給食を「生きた教材」として食に関する指導を推進する。
 - ・食物アレルギーのある児童の安心安全なものにするために食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識に基づき、適切な対応がとれるように研修の機会充実・関係機関との連携を行う。
- 防災教育・防災管理の充実
 - ・地域と連携した防災教育の推進
 - ・引き渡し訓練・シェイクアウト訓練を実施する。

学校運営協議会

連携・協働

保護者

地域

確かな学力

知

- 確かな学力の育成に向けた視点
 - ・学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を展開する。
 - ・学習課題に応じた「まとめ」と「振り返り」を行うことを徹底する。
 - ・校内研修・研究協議を充実させ、指導力を高める。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
 - ・すべての子どもに基礎的・基本的な知識技能を確実に習得させる。
 - ・日々の授業と家庭学習を連動して自学自習の習慣化を図る。
 - ・子どもの発達段階と特性に応じてICT機器等を効果的に活用した学習活動を充実させる。
- 問題解決的な学習や探究活動の充実
 - ・総合的な学習では子どもの学習意欲を喚起・知的好奇心や探究心を引き出し、主体的に学習に取り組む力の育成をはかる。
- 実践的な英語力の育成
 - ・言語や文化について体験的に理解を深める機会を充実させ、言葉だけでなくジェスチャーなどの手段も活用しながら相手の思いを理解しようとしたり自分の思いを伝えたりする。

○教育者としての責任を自覚し、資質・指導力を高める。

- ・どの子どもにも声をかけ、学校全体で子どもを育てる意識をもつ。
- ・学年経営するつもりで学年全体の子どもを育てる。
- ・教職員同士が学び合い、高め合い、相談し合える職場づくりを心がける。
- ・自らの働き方や資質・指導力の向上に向けて意識改革を進める。